

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

持続可能な酪農業への支援や安全安心な食品提供などの事業を推進することで、生活者と地域社会への健康づくりに貢献する組織を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	製品の包装材料等を環境に配慮した材料への切替	製品包材プラスチック使用量 2026年までに10%削減(2023年比)
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	自給飼料の生産指導と資源循環型農業の推進、耕畜連携体制の推進強化	①耕畜連携による自給飼料生産面積の増加 2023年224ha→2026年235ha ②耕種農家への堆肥還元量の増加 2023年800t→2026年1040t
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	ICT活用による業務の効率化と合理化の推進	稟議書のペーパーレス化 2023年0%→2026年までに100%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標**を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

食の安全安心に向け製造業者である本会と、消費者、生産者との間に信頼関係を構築する。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	製品の包装材料等を環境に配慮した材料への切替	製品包材のプラスチック使用量を2023年までに20%削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	ストローの一部をバイオプラスチックへ切り替え ストローの一部をバイオプラスチック製へ切り替えましたが、指標の達成には厳しい状況でした。バイオプラスチックの普及率が低くコスト面ではまだ高価であり、強度の面でも耐久性に問題点があり、切り替えにはもう少し時間が必要です。	製品包材プラスチック使用量 2023年 7%削減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	自給飼料の生産指導と資源循環型農業の推進、耕畜連携体制で目標達成	自給飼料作付け面積の増加、耕畜連携を行う農家戸数を増加
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	耕畜連携による堆肥還元、耕種農家への自給飼料生産指導と土壌分析による土づくり指導の実施	耕畜連携による自給飼料作付け面積181ha→224ha、耕畜連携の耕種農家数 8組織→9組織
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	ICT活用による業務の効率化と合理化の推進で目標達成	電子決裁の導入実施、会議資料電子化 2021年0%→2023年20%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	申請書・届出書類のワークフローシステム導入、会議資料の電子化	届出書の電子化2023年 72%、主要会議の資料電子化 2023年63%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載**してください。